

彼方小だより

家庭数配布

富田林市立彼方小学校

令和3年10月号

「好きこそものの上手なれ」

校長 藤井 貞彦



朝夕めっきり涼しくなり、過ごしやすい気候になりました。ついこの間までは、子どもたちに「今日も暑いけど、頑張ろうね。」と声かけをしていたのが、いつの間にか「夜は寒かったね。身体は大丈夫かな？」という声かけに変わっています。気が付けば彼岸花が咲き、田んぼの稲もたわわに実って、すっかり秋らしくなってきました。

「校長先生～ 見て！見て！」、「私のん、どれやと思う？」低学年の子がうれしそうに声をかけてきました。「〇〇ちゃんのは、これかな？」、「上手に作ってるな～」答えるこちらもなんだかうれしい気分になりました。2学期初めに実施した「夏休み作品展」での一コマです。保護者の皆さんには見ていただけませんでした。どの子の作品にも夏の間の頑張りが見えました。（保護者の皆さん、ご協力ありがとうございました。）また、高学年の自由研究には目を見張るものがありました。様々なテーマを設定し、自分なりに調べたことをまとめていました。仮説を立てて実験をしたり、実際に調べて回ったり、休み中にしかできないことにしっかりと取り組んでいることがよくわかりました。

この夏、「岸和田市の小学生が、体にオスとメス両方の特徴を持つ希少な『^{しゅう}雌雄モザイク』のクマゼミを見つけた。」というニュースが新聞に載っていました。記事によると、彼が「ほかのクマゼミと比べ、飛び方が下手でよたよたしている」と疑問に思い、捕まえて観察すると、雌雄モザイクだったということです。標本が展示されている博物館の館長さんは「カブトムシやクワガタと違い、セミの雌雄モザイクの発見は、全国でも珍しく、一生で出会えるかどうかのもの。」と絶賛していました。彼は日頃から様々な昆虫を飼育し、図鑑などで学んでいて、「虫博士」と呼ばれているそうです。「好きこそものの上手なれ」と言われますが、子どもが興味・関心を持ったことに対する集中力は、こちらの想像を軽々と越えてきます。そして、手に入れた情報をスポンジのように吸収して自分のものにしていきます。覚えたことをすぐに忘れてしまう私にはうらやましい限りです・・・

延長が繰り返された緊急事態宣言もようやく解除になりました。何をするにも適した気候のいいこの時期、本校でも子どもたちに興味・関心を持たせ、やる気を引き出すような活動に取り組んでいきたいと思えます。今後も引き続き適切な感染症対策を施しながらですが、「実りの秋」を迎えられるよう前向きに進めていく予定です。

来週からは運動会の取り組みも本格的にスタートします。今年も昨年同様、規模を縮小（午前開催・入場制限）して実施する予定です。

（詳しくは後日配布の「運動会のご案内」をご覧ください。）

ご家庭でも体調管理等、ご理解ご協力をお願いします。

